

## トキ生息環境整備地域活動事業支援状況(平成28年度)

整理番号	継続年数	団体名	職名	代表者名	団体所在地	構成員数	活動期間	活動目標	主な活動場所	活動内容	助成の可否	実績事業費	助成対象経費	助成確定額
1	5年目	水津トキの会	代表	川端欽吾	佐渡市水津	40	H28.6～H29.3	トキの保護増殖を図るため、生息環境の保全、飼場の確保を行い、併せてトキを通じて会員相互の親睦をはかり、住み良い地域づくりを行う。	水津	・ビオトープ補修(耕起) ・草刈り ・生き物調査	助成	330,044	254,044	250,000
2	5年目	早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲスREC	代表	青木将人	東京都豊島区	16	H28.4～H29.3	トキも暮らす自然環境の豊かな島である佐渡島において、首都圏の学生に自然、耕作放棄地等の問題に触れさせ、環境啓発を行う。 同時に、少子高齢化の進む佐渡島の集落において、学生独自の視点から地域活性化に貢献できるような活動を行う。	岩首、両津、新穂、生椿、小木、羽茂大崎	・ビオトープ整備 ・佐渡の環境PR活動	3/31活動中止申請受理	—	—	—
3	3年目	トキの郷をつくる会	代表	和田孝士	佐渡市新穂長畝	5	H28.5～H29.3	野生放鳥したトキが、ねぐら、餌場、営巣など生息している地区の環境整備を行いながら、他団体との協働により環境整備手法のレベルアップ及び啓発活動を行い、環境にやさしく、トキと共生するエコアイランド佐渡を目指す。	新穂長畝	・ビオトープ管理 ・森林整備活動	助成	300,000	250,000	250,000
4	2年目	風援隊	代表	谷中 奨	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	10	H28.8～H28.9	トキの野生復帰の活動を通じて、地元の方々がそれぞれの地域を元気にできるように、首都圏の若者がその地域を訪れて、刺激を与えられるような「風」を起こす行動を行うことを目標とする。	新穂、岩首、上横山	・ビオトープ整備	助成	252,091	190,800	190,000
5	1年目	ボランティア・コネクション	代表	近藤亮磨	神奈川県横浜市港南区	19	H28.7～H29.3	東京工科大学は過去10年間にわたり佐渡島で課外活動授業として、トキの野生復帰のボランティア活動を実施してきた。 新たに学生の積極的な活動を推進するためボランティアサークルを立ち上げ、これまでの活動のノウハウを活かし、大佐渡にあまり分布していないトキを呼び込む。	外海府地区、内海府地区	・ビオトープ整備	助成	358,438	213,831	213,000
6	1年目	NPO法人トキどき応援団	理事長	計良武彦	佐渡市新穂潟上	50	H28.9～H29.3	野生復帰エリア内の重要箇所の森林・水辺をモデル的生息環境として一体整備する。新潟大学の人材養成講座卒業生を作業員として組織化する。	新穂長畝、新穂潟上、正明寺	・モデル的生息環境整備	助成	267,167	267,167	250,000
合計												1,507,740	1,175,842	1,153,000